

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団の水防力強化事業

自治体名

葛城市

消防団名

葛城市消防団

1 事業の目的

水防団の存在しない本市消防団は、火災のみならず、水害への対応も求められていることから、地域住民との合同による水防訓練を行い、消防団と地域の連携力を高めるとともに、水防力の強化を図ることを目的とする。

2 事業内容

アンダーパスや水路の越水が起こる可能性の高い箇所を想定し、水防装備（簡易設置型止水板、雨衣、手袋）を消防団に整備し、地域住民（自主防災組織）と合同で水防訓練を実施した。



3 事業成果

止水板を用いた設置の訓練を市や地元住民も含めて消防団で実施した。消防団のみでの設置の訓練も実施しており、止水板に対する理解を深めた。

今までは豪雨や台風時に対して土のうを積むことによる水防活動を実施していたが、新しい装備となる止水板を導入したことで、土のうを積むよりも素早く水の流れを止めることができるようになり、越水箇所に対する迅速な対応を行うことで次の災害箇所へ駆けつけることができるようになり、市内の災害箇所への早急な移動が可能となった。

また、支給された雨衣や手袋に対しても、豪雨時以外にも水を扱う訓練時に装備することで、周囲の住民への団活動が目に見えやすくなり、消防団の認知度が上がり、団員確保時の勧誘活動に対して活動内容の想像が付きやすくなるので有利に働いている。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
実施回数	回数	2回	5回	達成率250%
参加者	人数	175人	191人	達成率109%

5 その他参考情報

--